

1. 日 時 令和2年1月23日(木) 19時～
2. 場 所 高知県庁 2階 第二応接室
3. 出席者 部会員8名、事務局4名

【議事概要】

(1) 子宮頸がん検診の実績等について

○平成30年度 市町村子宮頸がん検診の実績について(資料1)

- ・市町村が実施した子宮頸がん検診の、受診者数、精検者数、精検結果等について報告。
- ・精度管理指標である「要精検率」「精検受診率」「陽性反応的中度」は国の許容値を満たしているが、「がん発見率」が国の基準を下回ったことを報告。

○平成30年度 県全体のがん検診の実施状況調査結果について(資料2)

- ・資料1の実績数に加え、職場で実施される検診等(以下、職域検診という)を含めた県全体の受診率について報告。子宮頸がんは23機関から報告をいただく。
- ・2ページの①～③の表
職域検診の報告依頼項目は、受診者数・要精検者数・精検受診者数・精検結果の4項目であるが、情報提供可能な範囲での報告でかまわないこととしていることから、4項目全ての報告をいただいた機関と、一部の情報のみ報告をいただいた機関の情報をそのまま合算すると、精度管理状況が比較できない。そのため、4項目全て報告いただいた8機関分の実績と市町村検診実績を合算した表①と、2項目(受診者数・要精検者数)の報告をいただいた9機関分に①の表を合算した②の表、受診者数のみ報告いただいた6機関分に②の表を合算した③の表に分けて分析したことを報告。
- ・2ページ下段の表(40歳以上の集計の年次変化を掲載)
検診受診者数は、29年度より604名減の43,520名。がん発見数は、29年度より17名減の16名。

○ベセスダシステムによる検診実施状況について(資料3)

- ・ベセスダシステムが開始された平成22年度からの推移と、平成21年度のクラス分類の結果を掲載。
- ・下段に、平成28～平成30年度の細胞新判定の推移を掲載。

○令和元年度 各種検診の検診費用徴収額調べについて(資料4)

- ・市町村検診時に住民から徴収する自己負担額について報告。
表ページは自己負担額が少ない順に並べた表であること、裏ページは市町村順に並べた表であることを説明。
- ・子宮頸がんは、表の右端に表記。
グレーで着色している箇所が、30年度と変更のあった箇所であることを説明。

(2) 受診率向上対策について

○クーポン事業での子宮頸がん検診の実施状況について(資料5)

- ・1ページ目で、平成21年度～30年度までの受診状況について報告。
- ・2ページ目で、平成21年度からの事業の変遷を説明。令和2年度も31年度から同様に、20歳の方のみが無料クーポン事業の対象となること報告

(3) 子宮頸がん検診精度管理調査結果について(資料6)

- ・市町村及び医療機関に調査を実施した精度管理状況について結果を報告。

(4) その他

○地域がん登録の登録状況について（資料7）

- ・地域がん登録の2015年の全国状況を追加した資料を配布。
- ・高知県の状況は国の精度基準を満たしていることを説明。
- ・「平成28年全国がん登録 罹患数・率報告」について説明。

○子宮頸がん検診実施指針様式改正について（資料8）

- ・臨時子宮がん部会で承認を得た様式3号別紙の制定について説明。
- ・集合検診の実施主体である高知県総合保健協会より、子宮がん検診カード（様式3号）の内診・視診欄の子宮筋腫と子宮腺筋腫の選択欄を分けること、また子宮脱・子宮下垂の選択欄を分けることについて提案。医師の判断が難しいことから、現行様式から変更しないことで合議。